



タンポポの根はなぜ長いねのなが

長い根ながは、かわいた荒れ地あちそだに育つてきのに適している

タンポポは日当たりひあがよく、かわいた土地とちで育つ植物しょくぶつです。都会とではビルが取りこわされ、ぽっかり空あき地ちなどができたとき、まっ先さきに生えてくる植物しょくぶつの1つです。長い根ながはこのようねな荒れた土地あで、少ない水気とちを吸すい上げみずけるのに適あしています。てき

根ねは栄養えいようをたくわえている

タンポポの根ねはゴボウの根ねにながて、長いものは1メートルものびます。この根ねに栄養えいようをたくわえ、毎年まいねんあたらしい葉はが出て花はなが咲さきます。

やがて、ほかの植物しょくぶつに場所ばしょをうばわれる運命うんめい

タンポポは荒れ地あちで生活せいかつできますが、やがて、ほかの植物しょくぶつがしげり出し、背だの高い草せや木たかでおおわれるようになると、日当たりひあなどが変わりもう生活せいかつできません。

長い根ながをもつキク科ねの植物か

キク科かの植物しょくぶつには地中ちちゆうに深く長い根ふかをのばすものが多くあります。アザミやゴボウがそうあです。これらの根ねには栄養えいようがたくわえられていますので、食用しょくようにされます。山菜さんさいとして売うられている山やまゴボウというのねは、アザミの根ねを漬物つけものにしたものです。

タンポポの根ねは食べませんが、根ねにはゴムねの成分せいぶんがふくまれています。タンポポの根ねからゴムつくを作る研究けんきゆうもされたそうです。(監修・中山 周平)

